

【未解決事件】現場のマッチ箱に血痕と軍手のようなもので触った跡…上智大学生殺人事件が発生から 29 年に(FNN プライムオンライン(フジテレビ系))

<https://news.yahoo.co.jp/articles/375d2470a3d2461dc5c502d2e7215aec4021a8f>

未解決のままきょうで 29 年となった上智大学生殺害事件で、現場から見つかったマッチ箱には、軍手のような痕が残されていたことが新たにわかりました。

この事件は 1996 年 9 月 9 日、上智大学 4 年生だった小林順子さん（当時 21 歳）が葛飾区柴又の自宅で首を刺されて殺害され、自宅が放火されたものです。

現場に残されたマッチ箱には、犯人がケガをした際のものと思われる A 型の血痕が付着していましたが、その後の捜査関係者への取材で、このマッチ箱には軍手のようなもので触った痕も残されていたことが新たに分かりました。

警視庁は事件解決に向け、情報提供を呼びかけています。

（情報提供 亀有警察署 03-3607-0110）